

AI規制コンプライアンス

オートメーションとインテリジェンス
でAIによる規制遵守プロセスを合理化



生成AIはAIを民主化し、今日の経済状況において最大のビジネスチャンスをもたらしました。2028年までに、人と生成AIのインタラクションの3分の1には、自律型のAIエージェントを活用した作業が含まれることが予想されています。企業が競争力を維持するために、AIは不可欠ですが、持続可能な成長のためには複数のリスクに対処する必要があります。組織にモデル、アプリケーション、エージェントのうちどれをデプロイするにしても、AI活用の取り組みを統括、管理、監視するために、効果的なガバナンス体制が不可欠です。そのためには、以下が必要になります。

- **今後導入される規制の特定を自動化して、スプレッドシートから置き換えることで、間違いが起きやすく時間のかかる作業を減らし、翻訳や記録をする際の誤解や規制ギャップを減らします。**
- **透明性の高いモデルのプロセスを構築します。**これは特にリスクの高いアプリケーション、モデルの検証担当者、監査人、規制当局からの要求に対処する際に不可欠です。また、金融・官公庁・自治体・医療などの規制の厳しい業種・業務や、複数の国または地域固有の法律への対応が必要なグローバル組織でも、透明性の要件は不可欠です。
- **モデルのメタデータを構造化フォーマットで文書化することで、モデル検証プロセスに一貫性が生まれるとともに、規制当局、監査人、利害関係者に説明可能なAIの成果を提供できます。**

IBM® watsonx.governanceは、AIに関するコンプライアンス・プロセスを自動化し、特定のビジネスニーズに対応させることができます。

- ビジネス要件に関連する規制の変更とコンプライアンスの不備の特定作業を自動化して、多すぎる規制アラートを削減します。
- 単一のリポジトリで規制の内容にアクセスし、大量の規制データをより効率的に処理します。
- AIユースケースおよびプロジェクトと世界各国の規制を対応させることで、適用される規制をそれぞれのユースケースと地域ごとに特定できます。
- 企業全体のコンプライアンス体制をユースケースや地域ごとに可視化することで、規制義務を文書化するプロセスを迅速化できます。
- 柔軟に構成できるワークフローで、コンプライアンス・アセスメント・サイクルを改善また、ユーザーフレンドリーなドキュメンテーションで、わかりやすく、簡潔で、利用しやすい規制資料を実現します。
- 複数ユーザーによるガバナンスを確保したコンプライアンス・アセスメント・サイクルによりコラボレーションを強化し、予定外の業務や手作業の必要性を減らすことで時間を節約します。

watsonx.governanceをご紹介しますー大規模にAI規制コンプライアンスの管理・監視・報告のために設計されました。

[詳細はこちら→](#)

[無料評価版 →](#)

© Copyright IBM Corporation 2025. IBM、IBMロゴ、watsonx、および watsonx.governanceは、米国およびその他の国におけるIBM Corp.の商標または登録商標です。

本書は最初の発行日時点における最新情報を記載しており、IBMにより予告なしに変更される場合があります。IBMが事業を展開している国または地域であっても、特定の製品を利用できない場合があります。